

『子どもたちよ 大志を抱け』

今年度のキャリア教育の目玉として、さまざまな職種の人による講演と体験学習を行いました。これは子どもたちに、夢をもち、夢の実現を追求していく力をつけてもらうために行われた地域学校協働活動の一つです。

子どもたちは看護師、元刑事、美容師、宮大工、猿回し芸人、農業経営と多職種の講師のそれぞれの仕事の内容や、仕事に対する熱い思い、努力されている姿に触れました。講話を聞き、体験している子どもたちの眼は光り輝いていました。将来の菊陽町を支える子どもたち(=未来)が育っています。



宮大工体験をしている子どもたち

人権啓発標語 「あなたがいるから 明るく楽しくあたたかい」

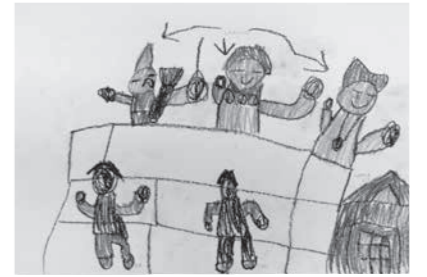
武蔵ヶ丘中学校 2年 山口 龍一(現在3年生)

「じんじゃにおまいりにいったよ」

みどり園 森本 紺之一(5歳)



いつも遊んでいる友だちと(作者は中央)



「じんじゃにおまいりにいったよ」

あそのじんじゃにいった。かみさまがたくさんいた。わらったかおのかみさまや ねむったかおのかみさまがいた。さかなつりのかみさまもいた。ままが しちふくじんのかみさまだっておしえてくれた。ままのさいふのうえに しろいへびをのせて、へびのうえにままのと このいのてをのせておねがいたよ。このいは『じいじがよくなりますように』っておねがいた。だってじいじはびょうきだから。へびもさわった。つめたかったよ。

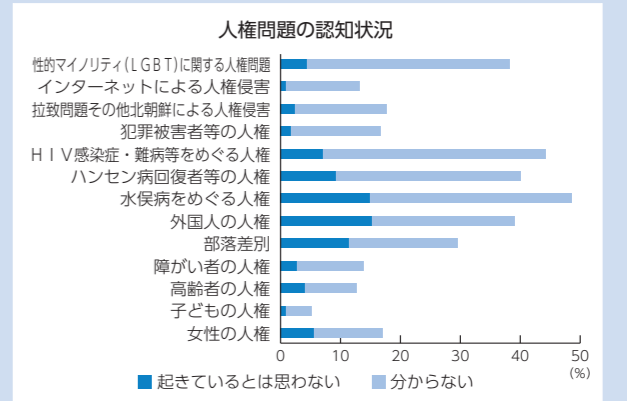
(先生から)

このいさんは病気で入院しているおじいちゃんのことを心配していました。神社へ行った時もおじいちゃんのことを神様をお願いしたそうです。その時のことを絵に描いてくれました。新型コロナウイルス感染症の影響でなかなかお見舞いに行けなく、おじいちゃんが元気になったら一緒に遊びたいと話していました。

「水俣病問題」を考える ～公式確認の日、5月1日に～

一昨年、「菊陽町民人権意識調査」を実施しました。その中で、「どのような人権問題が起きているか」の問いに対し、「人権問題が起きているとは思わない、起きているかわからない」という回答は下図のグラフのような結果でした。この割合が一番多かったのが水俣病問題に関してで、49%でした。「水俣病問題」について考えてみたいと思います。

1956(昭和31)年5月1日は、チッソ付属病院の細川一院長らが「原因不明の疾患の発生」を水俣保健所に届けた日で「水俣病の公式確認の日」とされています。1992年からはこの日に水俣市主催の慰霊式が開催されてきました。しかし、近年は熊本地震の影響、改元行事との重複で10月に延期であったり、昨年は新型コロナ禍で初めて中止になったり通常と異なる状況が続いています。水俣病問題は健康被害をもたらしただけでなく、「水俣」というだけで特別な見方をされるなどのいわれない偏見や差別の問題を生じさせました。いまなお、水俣病認定申請や裁判をしている人もおられますし、水俣病被害者本人や家族の高齢化も進み、日常生活におけるさまざまな支障や不安も生じています。今年の慰霊式は5月1日開催が決まりました。節目の日に、水俣病問題のこれまでを、現在を、これからを共に県民として学び、考え、見つめたいと思います。



人権擁護委員による特設無料人権相談を行います

相談は無料で秘密は固く守られます。ご利用ください。

回	期日	時間	場所
1	6月1日(火)	午前10時～午後3時	武蔵ヶ丘コミュニティセンター
2	9月1日(水)	午前10時～午後3時	中央公民館
3	12月1日(水)	午前10時～午後3時	西部町民センター

短歌会

菊陽句会報

きくよう文芸

雪降りて阿蘇の山峡(やまがひ)氷えつえといまだ消残る下道を行く
暖かき日差しを受けてスイートコーン早三月に穂先出でおり
真夜中にバイク唸らせ過ぎてゆく梅咲き初むる若き等の今
引き抜けばごっそり土を抱え込む雑草なれど捨てるには惜し
枯れ芝を一気に滑る赤いソリ幼を乗せて風のごとくに
この空に続く世界は君たちの希望の世界さあ飛び立とう

声高き(こゑたか)頬白(ほくしろ)一閃(いつせん)青空へ
噴煙(ふんえん)も真白(ましろ)く浮(う)きて山笑(やまわら)ふ
復興(ふくこう)の赤橋(あかばし)五歳(ごさい)阿蘇(あそ)に春
進(すす)み行く新興(しんせい)住宅(たくわ)揚雲(やううん)雀(すずめ)
市街地(しがいち)のまばらな人出(ひとで)春日(かすか)傘(かさ)
人格者(じんがしや)の聖火(せいふ)リレー(りれい)や彼岸(ひがん)路(ぢ)
春の旅(はるの旅)キャリー(かりー)バッグ(ばぐ)軽(かろ)々と
級友(きゅうゆう)の脳梗塞(のうこうそく)を知る余寒(よかん)
吉田(よしかわ) 幸子(ゆきこ)

田島(たじま) 三間(さんま)
宮川(みやがわ)ユキエ
紫藤(むらさきとう) 祥子(さやこ)
曾我(そが) 育代(ゆくよ)
曾我(そが) トモ子(とものこ)
緒方(おのまた) 千エ子(ちえこ)
米山(やまね) るみ子(るみこ)
吉田(よしかわ) 幸子(ゆきこ)

読み止(よみどめ)しの乗(の)る老眼(らうがん)寒夜(せむせ)かな
園児(えんご)等(ら)と触(ふ)れ合(あ)う小路(こうじ)春(はる)うらら
白壁(しろかべ)のキャンバス(キャンパス)に映(うつ)るミモザ(ミモザ)咲(さ)く
春嵐(はるあらし)物(もの)干(ぬ)きもどばしけり
淋(しみ)しき日(ひ)吾(わが)子(こ)帰(かえ)り来(き)て風光(ふうこう)る
麦(むぎ)芽(め)立(た)つ故(こ)里(さと)山(やま)河(が)澄(すみ)みわたり
山(やま)頂(たか)の空(そら)は果(は)るなく風光(ふうこう)る
制服(じふく)と今日(けふ)で別(わか)れ初(はじ)桜(さくら)

木村(きむら) 信子(のぶこ)
財津(たづ) 早雪(はやゆき)
原野(はらの)レイ子(レイこ)
寺尾(てらお) 千代子(ちよこ)
福田(ふくだ) 貴子(きこ)
田中(たなか) 郁子(ゆきこ)
北川(きたがわ) しんじ
佐藤(さとう) 澄世(すみよ)

有久(ありひさ) 賢治(けんぢ)
梅田(うめだ) 國雄(くにお)
佐藤(さとう) せい子(こ)
中村(なかむら) トシエ
馬場(ばば) 礼子(れいこ)
松本(まつもと) 東亜(とうあ)